

令和 5 年度の事業評価及び令和 6 年度の事業概要について

基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくりの推進

推進項目

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生
- (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流

◆…改善の余地がある事業

施策の実施内容 (D0)

- 交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムに取り組むため、第 12 回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会を開催した（実施種目はハーフ・10 キロの 2 種目、全国 31 都道府県から 1,122 人のエントリー）。
- 前回大会に引き続き、全日本実業団駅伝（ニューイヤー駅伝 2024）にも出場している埼玉医科大学グループのメンバー 12 名が 10km の部にエントリーするなど、トップ集団ではハイレベルな戦いが繰り広げられた。
- 市民ボランティアの積極的な参加と地元企業の協力により、参加者と市民の一体感が回を重ねるごとに増し、酒田市ににぎわいを創出することができた。
- 今大会では初の試みとして、文化庁の 100 年フードの認定を受けるとともに、令和 5 年 10 月開催の日本ご当地ラーメン総選挙で優勝した「酒田のラーメン」を、エイド（給水所）にてランナーへ提供した。また、フィニッシュ後の「いも煮」の提供も復活し、つや姫おにぎりと共にランナーへ庄内の味を振る舞うことができた。
- 市スポーツボランティア会の令和 5 年度の活動実績としては、県縦断駅伝競走大会にて中継所運営、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会にて給水所などでボランティア活動をしていただいた（R6.6.14 現在の会員数は 25 人）。
- ◆市巡回駅伝競走大会（令和 5 年度大会）では、参加予定ではあったが、人が集められず不参加となった地区や、他市の選手を補充したため 2 部扱いで出場した地区もあり、最終的に 21 チーム（1 部：12 チーム、2 部：9 チーム）が参加した。中継所役員や走路監察員などの負担軽減を図るために、コース検討や大会運営の見直しについて、スポーツ振興会理事会等で協議を継続していく。
- ◆スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生を目的に第 51 回酒田市民体育祭を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により 4 年ぶりの開催となったが、種目数を減らしての半日開催や従来の種目毎の年齢区分を極力なくす等、参加しやすい大会運営を検討し、延べ 1,260 人が市光ヶ丘陸上競技場を会場に競い合った。

- ◆ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流については、トライアスロンおしんレース大会にニュージーランドの選手を招聘してきたが、同大会は令和元年度より中止が続いている。

施策としての現状評価 (CHECK)

- 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会は、これまでの開催実績により市民から親しまれており、また全国的にも知名度を上げている大会であることから、継続していく必要がある。
- 賑わいを生み出すスポーツイベントの開催にはスポーツ振興会をはじめとするスポーツ関係団体の協力が不可欠であり、地域のスポーツ活動において中心的に活躍されてきた方々の知識や経験を活用する仕組みとして、スポーツボランティア会の活動は施策の推進に有効であると考ええる。
- 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会や市巡回駅伝競走大会はランナーとしての参加だけでなく、交通誘導のボランティアや観客として参加する方々も多く「する」「みる」「ささえる」スポーツの場となっている。
- ◆市巡回駅伝競走大会については、参加チームや中継所役員スタッフ等の確保が課題である。
- ◆新型コロナウイルス感染症の影響により 4 年ぶりに開催をした市民体育祭は、運動会形式としての開催は最後となった。市民が参加しやすいイベント内容を検討し、スポーツを通じた健康増進や地区の垣根を超えた住民同士の親睦を深めることを目的としたイベントに作り上げていく必要がある。
- ◆スポーツ行事への参加者数は目標値に届いていない。コロナ感染症が 5 類に移行したものの、未だコロナ禍の影響を受け、地域のスポーツイベントが開催されていない実情がある。交流人口の減少も、コロナ禍の影響であると分析している。(一部は「トライアスロンおしんレース」が開催されていないことによる影響)
- ◆ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流については、交流事業再開の見込みがないため、市スポーツ推進計画の中間見直しの際に、推進項目から削除する予定である。

改善の内容 (ACTION) / 令和 6 年度以降の計画 (PLAN)

- ・湊酒田つや姫ハーフマラソン大会は、エントリー者の増加による財源確保のために、新たにフィニッシャーズタオルを準備したり、ゴール後の酒田のラーメンの提供など、新しい取り組みを進め交流人口の拡大を図る。また、令和 7 年度大会に向けて、魅力のあるコー

スの検討や5km部門の追加などを関係者と協議して進めていく。

- ・「ささえる」スポーツの推進を目的に、市公式 SNS 等の活用も検討しながら、幅広く市民へスポーツボランティアへの参加募集を呼び掛け、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会をはじめとする市主催イベントや、各種競技大会等のスポーツイベントをサポートしていく。
- ・市スポーツフェスティバルについては、スポーツに親しむことに加え、時代に合った形で世代間交流や、地域の一体感が図られるイベントになるようスポーツ振興会やスポーツ推進委員会等の関係団体と協議を進めていく。

数値目標

		指標値 (R6)	現状値	現状値 (R5)
KPI	湊酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における交流人口 (市外・県外)	1,520人 (R11 1,600人)	H30 1,415人	753人

関連事業

No.	事業名	指標			事業費 (千円)
		指標名	単位	R4 年度	R4 年度 (決算)
				R5 年度	R5 年度 (予算)
1	スポーツツーリズム推進事業	つや姫マラソン・おしんレース大会における交流人口 (市外・県外)	人	787 人	12,219
				753 人	13,120
(事業概要) ○スポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会実行委員会に対し負担金を支出する。 ○湊酒田つや姫ハーフマラソン大会をはじめとした、市内で開催される競技大会等のスポーツイベントをサポートするスポーツボランティア人材を育成する。 ○交流人口の拡大を目的とした全国や東北大会等の大規模スポーツイベント開催へ補助金を交付する。					
2	スポーツによる地域コミュニティ活性化事業	スポーツ行事への参加者数	人	21,961	1,629
				33,981	500
(事業概要) ○スポーツ活動を通じて市民による地域コミュニティ活性化を図るため、スポーツフェスティバル、駅伝競走大会といった市民参加型のスポーツイベントを行う。					